

英語語法文法学会第27回大会プログラム

大会参加費：学会会員 1,000 円 / 当日会員 一般 2,500 円 学生 2,000 円 (いずれも予稿集代を含む)

日時：2019年10月19日(土)

<当日は厚生会館の食堂(10.30-13.45)が利用できます。また近隣にコンビニエンスストア・飲食店がございます。>

開催校：北九州市立大学 北方キャンパス

〒802-8577 福岡県北九州市小倉南区北方四丁目2番1号

■JRをご利用の方

鹿児島本線小倉駅下車、北九州モノレール小倉駅より約10分「競馬場前(北九州市立大学前)」下車徒歩約3分

■バスをご利用の方

○福岡天神バスセンターより小倉行高速バス(なかつに号)で約70分、競馬場前北九州市立大学前下車徒歩約5分

○小倉・田川方面より西鉄バスで「北方・北九州市立大学前」で下車 徒歩約3分

詳細：<https://www.kitakyu-u.ac.jp/>

開催校委員：伊藤 晃、葛西宏信、永末康介

大会実行委員：住吉 誠、大竹芳夫、滝沢直宏、出水孝典、中澤和夫、西田光一、林龍次郎

●司会者・関係者(ワークショップ・研究発表・シンポジウム発表者)控え室(本館3階 D-303教室)

●大会本部・運営委員会室(本館3階 D-304教室)

●一般休憩室(本館3階 D-302教室) ●書籍展示(本館3階廊下)

受付：10時00分より 本館1階

ワークショップ(本館3階 C-302教室) 10.30 - 11.50

司会 前川貴史(龍谷大学)

1. 「Because 独立節—OED 編集長の著書に見られる実例を中心に—」・・・金子輝美(元・愛知淑徳大学非常勤)

2. 「as ... as (...) can be 再考」・・・松田佑治(立命館大学)

3. 「Regardless of whether の記述的考察」・・・大野真機(昭和大学)

4. 「but と置換可能とされる and についての—考察」・・・田岡育恵(大阪工業大学)

受付：12時30分より 本館1階

研究発表 13.00 - 14.45

第1室(本館3階 C-302教室)

司会 松村瑞子(九州大学)

1. 「先行事象(発話)に対する評価を表す There go 構文」・・・三野貴志(大阪大学大学院)

2. 「Speaking of which の構文化分析再考」・・・山内 昇(大同大学)

3. 「It is past time ... の形式と意味」・・・桑名保智(旭川医科大学)

第2室(本館3階 C-303教室)

司会 植田正暢(北九州市立大学)

1. 「基数詞目的語によって生じる over-V の意味の考察」・・・岩宮 努(大阪大学大学院)

2. 「「上位語型」同族目的語構文の動機づけ—名詞 laugh が生起するパターンを中心に—」・・・大井良友(大阪大学大学院)

3. 「be starting/beginning + Ving における-ing 形の二重使用制約について」・・・島本慎一郎(日本大学)

総会(本館3階 C-301教室) 15.00 - 15.20

総合司会

西田光一(山口県立大学)

開会の辞

会 長

大室剛志(名古屋大学)

開催校代表挨拶

葛西宏信(北九州市立大学基盤教育センター語学教育担当副センター長)

学会賞・奨励賞選考報告

会 長

大室剛志(名古屋大学)

事務局報告

事務局長

吉田幸治(近畿大学)

会計報告

会 計

吉川裕介(近畿大学)

シンポジウム(本館3階 C-301教室) 15.35 - 17.45

テーマ 「否定と尺度と談話と—否定表現とその周辺—」

司会 五十嵐海理(龍谷大学)

1. 「日本語と英語における否定極性項目と緩叙法」・・・有光奈美(東洋大学)

2. 「否定の繰り返しと Not-topic」・・・五十嵐海理(龍谷大学)

3. 「否定辞 not を含む等位構造を巡って」・・・関 茂樹(大阪市立大学)

討論者 佐野まさき(立命館大学)

閉会の辞 伊藤 晃(北九州市立大学)

懇親会 18.00 - 19.30

会場：厚生会館1階生協食堂

(懇親会費：一般 5,000 円 学生 3,000 円)

連絡先：英語語法文法学会

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1 近畿大学経営学部 吉田幸治研究室内

tel.: 06-4307-3365 (研究室) / fax: 06-6729-2493 (経営学部 教養・基礎教育部門)

(Email: segu.office@gmail.com ウェブサイト: <http://segu.sakura.ne.jp>)